

気密・断熱性能を高めた「快適な住まいづくり」を提案

大吉建設株式会社 奈良県奈良市

1996年創業の大吉建設株式会社は、気密・断熱性能を高めた「快適な住まいづくり」を提案している工務店である。

一般的に気密・断熱性能の低い住宅は、隙間風が冷暖房効率を下げ光熱費がかさむ他、寒暖差により壁面内部で結露し、耐久性の低下やシックハウスの原因となるカビの発生を引き起こすおそれがある。そこで同社では壁面内部への発泡ウレタンフォーム充填や防湿気密シート施工等で気密・断熱性能を高め結露を防いでいる。結果、標準仕様でC値^{*1}0.6cm²/m²以下、UA値^{*2}0.60W/m²・K以下を実現し、全仕様で改正省エネ基準（2020年度義務化予定）を達成している。

※1…相当隙間面積のことで、延べ床面積に対する建物の隙間面積の大きさを表す。積雪寒冷地である札幌市の省エネ基準では新築住宅で「1.0以下」とされ、低いほど望ましい。

※2…外皮平均熱貫流率のことで、建物外皮（外壁や天井・床等）から失われる熱量を単位面積あたりで表す。現行の改正省エネ基準で奈良県は「0.87以下」とされ、低いほど望ましい。

2016年10月には、同社の住宅が中小企業による施工例として県内でいち早く、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）^{*3}の最高評価・5つ星に認定される等、同社は高い省エネ性能をもつ快適な住まいを顧客に提供している。

※3…国土交通省の定めた「建築物のエネルギー消費性能の表示に関する指針」に基づく第三者認証制度の一つで、2016年4月から一般住宅にも省エネ性能表示を拡大している。

同社代表取締役社長の吉信秀樹氏は、冬の寒さやシックハウス等、既存住宅の気密・断熱性能の低さに起因する様々な顧客の要望や不満に接する中で、高気密・高断熱・換気システムによる「快適な住まいづくり」が重要と確信したという。

「高気密・高断熱＝暗くて風通しの悪い家、と誤解されることもある」と吉信社長は苦笑するが、

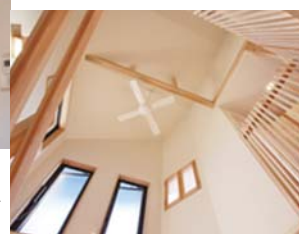
同社は南北に吹く風や冬の陽ざしを考慮して窓や吹抜を配置することで、高気密・高断熱でありながら明るく風通しのよい住宅を提供している。またフィルターを通じて新鮮な外気を取り込み、室内の温・湿度と同程度に調節し循環させる換気システムを導入。家全体の効率的な冷暖房を可能とし、梅雨時の湿気や冬場の過乾燥を防ぐ。

「奈良で一番、感謝される会社になろう」をモットーに掲げる同社のこだわりは、住宅の性能面以外にも表れている。住宅会社の選び方や資金計画、簡単な設計等を伝える「家づくり大学」（3日間全9講座）を無料開催。また現場に入る職人には挨拶や禁煙等の基本的なマナーの研修を必ず実施することに加え、1日最低5回の現場掃除を徹底。気密性能の検査やシックハウスの原因となるホルムアルデヒド濃度の検査、さらに万一基準に満たない場合の再施工までを標準仕様とする等、同社の顧客第一の姿勢は徹底している。

「今後も『快適な住まいづくり』の提案により、ご縁のあった全ての方に『本当にいい家に巡り合えた』と感謝して頂けるよう企業努力を続ける」と吉信社長は力強く語る。（太田宜志、前田徹）



高気密・高断熱が冷暖房効率と開放的な間取りを両立（左）



南北に吹く風や冬の陽ざしを考慮した窓や吹抜（右）

大吉建設株式会社

〒630-8146
奈良県奈良市八条町 398-1
TEL: 0742-36-3570 FAX: 0742-36-3580
URL: <http://www.daiyoshikensetsu.com/>



吉信秀樹氏